

解答は全て解答用紙に書きなさい。

[1] 次の(1)~(8)に答えなさい。

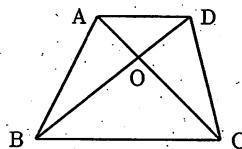
(1) 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} a^2 - b^2 + c^2 = 0 \\ 2a - b - 4c = 0 \\ a - 3b + 3c = 0 \end{cases}$$

(2)  $\sqrt{165 - 5n}$  が整数となる自然数  $n$  の値をすべて求めなさい。

(3) 右の図のように、 $AD \parallel BC$  であ

る台形 ABCD があり、対角線 AC, BD の交点を O とする。 $\triangle AOD$  の面積が  $a^2$ ,  $\triangle COB$  の面積が  $b^2$  であるとき、台形 ABCD の面積を  $a, b$  を用いて表しなさい。



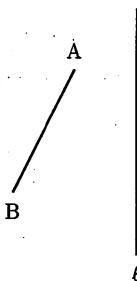
(4) 方程式  $\log_4(4x+1) + \log_4(2x-3) = 1$  を解きなさい。

(5) 初項が 99, 公差が  $-5$  である等差数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とするとき、 $S_n$  の最大値を求めなさい。

(6) 関数  $y = x^2 - 4x$  の表す曲線を  $C$  とするとき、次の①, ②に答えなさい。

- ① 曲線  $C$  上の点  $P(-1, 3)$  における接線  $\ell$  の方程式を求めなさい。
- ② 曲線  $C$  のグラフを ①で求めた接線  $\ell$  とで囲まれた部分の面積  $S$  を求めなさい。

(7) 下の図のように、直線  $\ell$  と  $\ell$  に平行でない線分 AB がある。直線  $\ell$  を対称軸とする線分 AB と線対称な線分を、定規とコンパスを用いて作図しなさい。ただし、作図が解答用紙に行い、作図に使った線は消さないで残しておくこと。



(8) 10 個の値からなるデータがあり、そのうち 4 個の平均は 5, 分散は 2 で、残りの 6 個の平均は 7, 分散は 3 である。このとき、全体の分散  $s^2$  を求めなさい。

[2]  $a$  を実数定数とし、 $0 \leq x \leq \pi$  とする。 $x$  の関数

$y = \sqrt{3} \sin 2x - \cos 2x - 2a(\sqrt{3} \sin x + \cos x) + 4$  について、次の(1)~(3)に答えなさい。

(1)  $t = \sqrt{3} \sin x + \cos x$  とするとき、 $t$  の取り得る値の範囲を求めなさい。

(2)  $t = \sqrt{3} \sin x + \cos x$  とするとき、 $y$  を  $t$  の式で表しなさい。

(3)  $t$  の方程式

$\sqrt{3} \sin 2x - \cos 2x - 2a(\sqrt{3} \sin x + \cos x) + 4 = 0$  が異なる 4 個の実数解をもつような、 $a$  の値の範囲を求めよ。

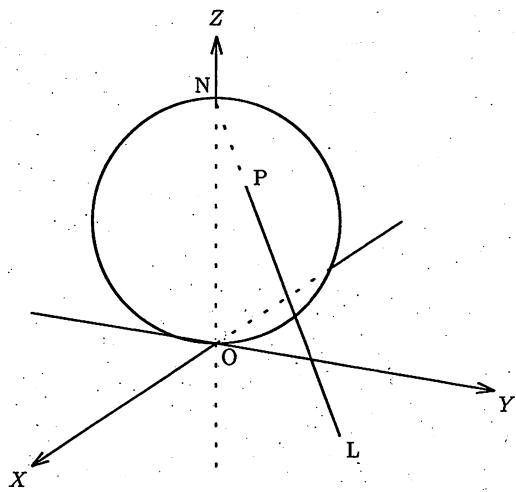
[3] A, B, C, D の文字が 1 つずつ書かれたカードが 4 枚あり、最初、それらのカードは、左から A, B, C, D の順に 1 列に並んでいる。並んでいるカードの中から無作為に 2 枚を選び、その 2 枚のカードの場所に入れ替えるという操作を繰り返して行う。例えば、1 回目の操作で、A のカードと C のカードを選ぶと、4 枚のカードは左から C, B, A, D の順に並ぶ。この操作を  $n$  回行うとき、A のカードが左端にある確率を  $p_n$ 、A のカードが右端にある確率を  $q_n$  とする。このとき、次の(1)~(3)に答えなさい。

(1)  $p_1, q_1, p_2, q_2$  をそれぞれ求めなさい。

(2)  $p_n$  を求めなさい。

(3)  $q_n$  を求めなさい。

- 4 空間に、原点Oで互いに直交するX軸、Y軸、Z軸がある。この空間内に、球面K:  $X^2 + Y^2 + Z^2 - Z = 0$  があり、球面K上の点N(0, 0, 1)とXY平面上の点L(x, y, 0)を結ぶ直線と球面Kとの点N以外の交点をP(X, Y, Z)とすると、XY平面上のすべての点と球面K上の点N以外の点との間に1対1の対応がつく。また、X軸、Y軸と複素数平面の実軸、虚軸をそれぞれ同一視し、点Lと複素数平面上の点  $z = x + yi$  を対応させる。点Lを点Pに写す写像を  $\varphi$  とするとき、次の(1), (2)に答えなさい。ただし、 $\bar{z}$  を  $z$  と共に複素数とする。



(1) 点P(X, Y, Z)のX, Y, Zをそれぞれz,  $\bar{z}$  を用いて表しなさい。

(2) 次の①, ②に答えなさい。

- ① 方程式  $a\bar{z}z + \bar{b}z + \bar{b}\bar{z} + c = 0$  の表す図形は、XY平面上の円または直線であることを証明しなさい。ただし、a, cは実数、bは複素数とし、 $|b| \neq 0$ ,  $|b|^2 - ac > 0$  とする。
- ② 方程式  $a\bar{z}z + \bar{b}z + \bar{b}\bar{z} + c = 0$  の表す図形の写像  $\varphi$  による像が、円であることを証明しなさい。

- 5 nを自然数とし、 $[0, 1]$ を閉区間  $0 \leq x \leq 1$ とする。連続関数の列  $f_n : [0, 1] \rightarrow \mathbb{R}$  が関数  $f : [0, 1] \rightarrow \mathbb{R}$  に各点収束するとき、次の(1), (2)に答えなさい。ただし、 $\mathbb{R}$ は実数全体の集合とする。

(1)  $f_n(x) = nx(1-x)^n$  とするとき、次の①～③に答えなさい。

①  $f(x)$ を求めなさい。

②  $\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^1 f_n(x) dx$  を求めなさい。

③  $f_n(x)$ は、 $n \rightarrow \infty$ のとき、区間  $[0, 1]$ で一様収束しないことを証明しなさい。

(2)  $f_n(x)$ が、区間  $[0, 1]$ で  $f(x)$ に一様収束するなら、 $f(x)$ は区間  $[0, 1]$ で連続であることを証明しなさい。